

# 秋葉就一の2022年3月予算委質疑一部抜粋他

## 1. 公表発熱外来指定機関は増えたか

県は2021年10月下旬から、コロナ疑いの方の診察やPCR検査（予約）等が可能な発熱外来指定医療機関（の一部）を県HPで公表している。私が12月3日現在の同医療機関の数を12月7日の一般質問で尋ねて得られた数から3ヶ月でどの程度増えたかを今回尋ねた↓

公表指定外来医療機関数	2021年12/3現在	3/1現在
千葉県全体	516	572
習志野保健所管内	38	43
市川保健所管内	54	55

習志野保健所と市川保健所を比較する理由は、保健所検査となる場合、市川分を習志野保健所の検査課が対応する体制となっているからで、市川管内での医療機関検査がしやすくなれば、習志野保健所検査が市川分によって圧迫されにくくなり、結果的に八千代市民が検査を受けやすくなるという関係があります。

習志野保健所管内の人口は県人口の8%弱で、市川保健所管内の人口は同11%弱。公表指定機関が平均的に分布すれば人口比と一致するはずですが、習志野管内の43は県人口比とほぼ同等の7.5%なのに対し、市川管内の55は県人口比を下回る9.6%に過ぎない。

さらに問題なのは、指定機関の数そのもので、3/1現在の数は、習志野管内が80、市川管内が72と、管内人口が多い市川管内の方が少ないという逆転現象となっている。八千代市民が検査を受けやすくするためには、市川保健所管内の、公表・非公表を問わず、発熱外来指定医療機関の数を増やすことが必要、ということが明らかとなったので、その旨県に要望しました。

### ★「公表分の発熱外来指定医療機関リスト」はどこに？

⇒ 千葉県庁HPのトップページをまず少し下にスクロールすると、**①防災・安全・安心情報**>という見出しの欄があり、その1行目「> **熱があるときは**」をクリック。  
⇒ その画面を下に少しスクロールすると、

#### ■かかりつけ医等の地域で身近な医療機関がない場合

・お近くの発熱外来指定医療機関に電話で相談してください  
PDF [県内の発熱外来指定医療機関 \(PDF: 321.8KB\)](#)  
[https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/documents/00\\_gairai-zenken.pdf](https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/documents/00_gairai-zenken.pdf)

という説明が出てきますので、PDFまたはEXCELと書かれたリンク行をクリックすれば一覧を見られます。

開いたら、少し下にスクロールして、習志野市分の次が八千代市の発熱外来指定医療機関（公表分）です。

## 2. 日本全体で2021年は死亡者急増

2022年2月26日、厚生労働省が昨年の死亡者総数（速報値）を発表し、日本列島を激震が襲った。昨年1年間の日本の死亡者数が戦後最大を更新して約145万人超となっただけでなく、**対前年比が、コロナ陽性者死亡者1万4926人をはるかに上回る、約6万7700人増だったのだ。**2020年の死亡者は対前年比約9400人減だったので、2019年と比べても約5万8千人増えたことになる。とんでもない数字。対前年増加率は4.9%で、ここ12年の最高の伸び率であるだけでなく、**東日本大震災の翌年以降の対前年比（減少した2020年を除く2012年～2019年）の平均値が+1.24%（+0.3～2.5%）だから、その4倍の伸び率。**老衰の増とか死亡者が1年遅れて表れたとかという分析もあるらしいのですが、明らかにそんなレベルの話ではない。6万8千人死亡者増という衝撃のニュースである。

**昨年1年間の本県の死亡総数も初めて6万6千人を突破。前年までは対前年比は100～2600人増程度だったのに、前年比・前々年比ともに約4000人増。昨年1年のコロナ陽性者死亡者数910人を差し引いてもなお3千人増。**伸び率が異様に低かった2020年を除く、2019年までの10年平均は+1400人程度なので、対前年の伸び幅は倍以上。この原因分析は急がねばならない。

## 3. 第6波の世代別等の影響度

第6波のうち、1月と2月の本県のコロナ陽性者は合計約16万8千人だが、重症者と死者は合計何人で、そのうち10歳未満は何人、何%だったか。（%は全て概数）

【疾病対策課】重症者は89名、死者は303名で、**のうち10歳未満はいません。**

以下のことは、3/15の健康福祉常任委員会答弁ですが、本県の1/1～3/8のコロナ陽性者死亡者462名のうち、**約93%が70代以上**の方々でした。

また、その後の私の調査で判明しましたが、政令市と中核市を除く千葉県保健所管内の1/1～3/15のコロナ陽性者死亡319名のうち、**基礎疾患があった方は285名。不明分を除くと全体の92%。**

同死亡319名のうち、**2回以上のワクチン接種歴があった方は200名で、不明分を除くと全体の84%。**不明分が全員1回以下と仮定した場合は全体の63%。

3/14現在の本県のコロナワクチン接種率は、12歳以上で2回完了が89%、65歳以上の3回完了が71%。

本県の3/26現在の陽性判定継続中の方のうち、**入院・ホテル療養・入院ホテル療養等調整中の合計は7.6%で、全体の91%が自宅療養中**となっている。